

会 議 録

<p>会議名 (審議会等名)</p>		<p>第 2 1 回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会</p>				
<p>事務局 (担当課)</p>		<p>都市計画課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 7 (直通) 生涯学習課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 8 7 (直通) 公園課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 3 (直通)</p>				
<p>開催日時</p>		<p>令和 4 年 8 月 2 1 日 (日) 午前 9 時 3 0 分 ~ 午後 0 時 3 0 分</p>				
<p>開催場所</p>		<p>けやき会館 2 階 職員研修所 大研修室</p>				
<p>出席者</p>	<p>市民検討会 委員</p>	<p>1 9 人 (1 0 ページのとおり)</p>				
	<p>有識者協 議会委員</p>	<p>2 人 (1 0 ページのとおり)</p>				
	<p>その他</p>	<p>5 人 (各施設担当者)</p>				
	<p>事務局</p>	<p>1 2 人 (生涯学習課長、公園課長他 1 0 人)</p>				
<p>公開の可否</p>		<p>可</p>	<p>不可</p>	<p>一部不可</p>	<p>傍聴者数</p>	<p>1 人</p>
<p>公開不可・一部 不可の場合は、 その理由</p>						
<p>会議次第</p>		<p>< 開会あいさつ > 1 第 2 0 回市民検討会の振り返り 2 意見交換 3 全体会</p>				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（ は市民検討会委員の発言、 は有識者協議会委員の発言、 は事務局の発言）

1 経 過

生涯学習課長による開会の後、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会の
大谷副会長進行のもと、傍聴の確認を行った後、第20回市民検討会の各WGの検討
成果について事務局より説明した。

その後、WGごとに分かれてオープンハウスパネル案の確認を行った後、各WGの
混成グループに分かれて、オープンハウスパネル案に基づき各WGの検討成果の説明
を聞き、検討した内容の共有と意見交換を行った。

～ 第20回市民検討会の会議録について～

- ： 会議録別紙の公園WGの成果について、エリアAに基づくゾーニングのイメ
ージ内の複合施設の配置場所が、私の認識と異なる。検討の中では、複合施設
はもう少し道路沿いでテニスコートと野球場に交じる場所に位置し、築山を避
ける位置をイメージしていた。
- ： 会議録別紙の各WGの成果については、あくまでも各WGでの検討の経過を
まとめたものである。本日も、各WGでオープンハウスパネル案の確認等を行
う時間をもうけているため、その中で議論していただきたい。

2 議 事

(1) 第20回市民検討会の振り返り

< 第20回市民検討会について >

事務局から、資料1に基づき、各WGの検討成果について事務局より説明した。

< まちづくりWG >

- ： まちづくりWGでは、小グループに分かれてこれまで出た意見やアイデア
を振り返って、取り組みたいことをまとめた。具体的には、第17回から第1
9回までの意見をまとめた「まちづくりWG意見集計結果一覧」を見ながら検
討項目に対して、アイデアの追加・補足を行うワーク1、まとめのイメージを
共有し、意見を出し合うワーク2を行った。それぞれのワーク後には、事務局
で小グループの内容について発表を行い、まちづくりWG全体で意見の共有を
図った。

小グループごとにワークの進め方に差はあったが、まちづくりWGとして、「ゆるやかなつながり・ゆるやかなまちづくり」というキーワードや、交通の安全・安心を大切にしていきたいこと、また、公園や風景からまちづくりを考える等のまちづくりの視点や、施設再編後もまちづくりが続いていくという継続性が大切であることを確認した。

< 公共施設WG >

： 公共施設WGでは、新しい施設の機能の組合せや配置について、A、Bの2グループに分かれてエリアマップを作成し、さらにオープンハウスに向けて、魅力ポイントを検討した。

【Aグループ】

： まずAグループでは、施設のコンセプトとして「目的がある人もない人も気軽に来られる公園のような施設」というワードが第19回市民検討会から引き続き出た。

全体的なエリアの配置としては、多目的室やボランティアルーム、ホール、スタジオといった趣味等で使用できる諸室がある「にぎやかに使っても良いエリア」、気軽に来やすいロビーや多目的室等がある「屋根のある室内の公園のようなエリア」、静かな読書室や相談室等がある「静かに使うエリア」の3つのエリアが意見として出た。また、コンセプトでもある「気軽に来られる」に係る意見が多く出て、その中で、「すぐに何か御用ですか？と聞かれないフリースペース」や「何回来ても楽しい図書館」といった意見も出た。また、空間の作りとしても、各諸室とフリースペース、ロビーの間をホワイエで繋げるといった意見が出た。

まちづくりセンター窓口の配置については、目的があってまちづくりセンター窓口を訪れた人が施設全体を利用するきっかけになるのではないかとといった意見が出た。

【Bグループ】

： Bグループでは、全体的なエリアの配置としては、賑やかなロビーやフリーミーティングスペース、会話可能な読書席等の「賑わい空間エリア」、相談ブースや学習室等の「静かな空間エリア」、スタジオや工作室、調理室等の「専用諸室エリア」の3つのエリアが意見として出た。その中で、セミフリーのミーティングスペースを配置したり各エリアの活動が見える様な空間づくりをすることで、公園と施設、施設内の諸室同士がゆるやかにつながり、いつでもふらっと来れる場所になるのではといった意見が出た。

< 公園WG >

: 公園WGでは、初めに公園内における複合施設との中間領域の使い方を考え、その後、第19回の複合施設の配置案に基づき、公園のゾーニングを考えた。第19回で意見の出た、A～Dの4つの複合施設配置エリア案でそれぞれ検討した結果、エリアA案に基づくゾーニング案、エリアB案に基づくゾーニング案、エリアCとD案に基づくゾーニング案の3つの案を作成した。また、それぞれの案について、共通事項や各案の特徴についてまとめた。

< オープンハウスパネル案（前半部分）について >

事務局から、資料3に基づき、オープンハウスパネル案（前半部分）についての説明を行った。

【質疑応答】

: 公園WGに対して、意見が3点ある。まず、平成29年度に行われたパブリックコメントでは、鹿沼公園をどうするかについて、多くの意見が寄せられ、鹿沼公園をあまりいじらないで欲しいという意見もあったと思うが、今回の公園のアイデアは、とてもいいのだなというのが率直な感想である。交通公園と白鳥池を残せば、あとはいいという感じで進んでいるのが気になっている。もしできれば、もう一度パブリックコメントの内容を見直して欲しい。

次に、近隣住民として、屋上テニスコートというアイデアが出てきて、驚いている。日当たりや反射、テニスの音といった点は考慮されているのか不安だ。

最後に、鹿沼公園の中に駐車場を設けるというアイデアだが、地上なのか地下なのかが気になる。普段は現在の規模で問題ないが、混雑する季節になると、入庫待ちの車が道路に並んでいる。そういった状況を承知しているのか。鹿沼公園に自家用車で来ないという方針の下で計画を立てるということであるなら問題ないが、それは難しいと思われる。また、まちづくりWGで検討していることと整合が取れていないように感じる。まちづくりWGで検討しているデザインマップでは、図書館敷地について2つの意見が出されている。1つの意見としては、図書館の駐車場の敷地に、歩ける道を造れば良いのではないかといいものがある。広場の遊歩道のようなイメージである。そうすると、図書館と鹿沼公園にある駐車場が半分になってしまう。そういった点も調整が必要であり、よく考えておく必要があるのではないかと。

: そのようなご意見を、本日の意見交換の時間に行っていただきたい。

: 公園WGの参考資料「各イメージの検証」の中で、駐車場の確保の部分で、

エリアA・B・Cが全て「 」となっている根拠について、後でも構わないので教えて欲しい。また、公園外の周辺環境と関連性は合理的か、駐車場入り口やアプローチという部分で、エリアBだけ「 」となっている根拠について、こちらも後で構わないので教えて欲しい。

： この後の公園WGのパネルに関する意見交換の場でやり取りしたら良いのではないか。

： 本日はWGを跨いで議論する機会があるので、この後の時間でやり取りをしていただきたい。

： 資料1のP9、10を見て、防災の関係で違和感がある。鹿沼公園の中に防災倉庫があるが、その周辺にもう少し広いスペースが必要だと考えている。施設内の配置場所に関するアイデアを見ても、防災に関するものが載っていないことが気になっている。防災の視点についても検討いただけるとありがたい。

： 防災についても確かに重要な視点だが、次回までに1週間しかない中で、このパネル案の性格上、淵野辺駅南口周辺のまちづくりにほとんど関心がない一般の市民の方にも足を止めて中身を見てもらうためには、どのようにパネル案を作っていけば良いのかを考える必要がある。その上で、防災をはじめ個別に関心を持っている点についてご意見をいただくこともあるかもしれないが、それ以前の段階として、オープンハウスで足を止めて見てもらうためには、あまり細かすぎる内容まで記載するのは避けた方が良く考えている。事務局から有識者協議会委員に事前に相談をいただいた時点の資料は、これまでの検討内容を可能な限り盛り込んだものであった。市民の方に足を止めて見てもらうために、情報量は絞った方が良いという考えで修正をしていただいたものが、本日のパネル案の資料となっている。情報量を絞った際に落ちてしまったアイデアもあるが、この後の検討で改めて意見として出していただいた上で、どこまでの内容をパネル案に記載するか、記載しなかったものは、オープンハウスの次の議論の中でどう反映させるかを考えていくことになるのではないか。

： 市民の方に足を止めてもらうためパネル案を見やすく簡略にということは分かったが、その過程では十分に検討されたものである必要があると思う。防災についても、検討はした上で、簡略化したパネル案を作ったという方向で進めてほしい。

- ： まちづくりWGのパネルは文字が多いので、簡略化していただいた方が見やすいと思う。「今年度中に基本計画策定」と記載されているが、どの程度具体的なことまでを盛り込む予定なのか教えてほしい。
- ： 基本計画の内容のレベル感として現在想定しているのは、平成29年度に一度公表した基本計画案もあることから、同じくらいのレベルの内容までは記載していきたいと考えている。
- ： 以前公表された基本計画案では、建物の場所に関するイラストも掲載されていたが、少なくとも複合施設の配置案の中で、どれかに建てるということや、ゾーニングのイメージは記載するのか。
- ： 建物を建てる場所については、ある程度狭めた範囲内で場所を示すという考え方もあれば、ある程度広めに範囲を設定して示すという考え方もある。基本計画を策定した後の考え方としては、民間の力を活用してより良いものを作りたいと考えているため、民間提案の余地が残るような形でまとめていきたいと考えている。必ずしも1案に絞る必要はないと考えている。
- ： 案の中から一つには絞らず、2つの案くらいで基本計画になる場合もあるのか。
- ： 計画として、そういった案がありましたということで、何パターンか記載することはあると考えている。
- ： パネル案は分かりやすく情報を絞ったものを見ていただき、その中で市民の方から意見をもらうということだが、あまり細かいところまで理解がされていない状態でのアンケートとなってしまうことが気になっている。
- ： 今回のオープンハウスのターゲットとしては、たまたま通りかかった一般市民のご意見を伺うというものである。情報量としては限られてしまうが、興味関心があって、もっと深く知りたいという方には、例えばチラシなどを別に用意して、QRコードから市のホームページにアクセスしていただくなどの対応を検討したい。
- ： 「オープンハウス」と「アンケート」は別と思っていたが、今回のオープンハウスでシールを貼っていただくことがアンケートになるのか。この後は、パ

ブリックコメント等で意見を聴くことになるのか。

： 今回は計画策定に向けた途中の段階であるので、計画策定の際には、再度パブリックコメントを実施することを想定しており、そのような機会に改めて市民の方にご意見を伺いたいと考えている。

： 新しい基本計画案を公表するときには、パブリックコメントを行うのか。

： 現時点では、そのように考えている。

(2) 意見交換

WGごとに分かれて、事務局からオープンハウスパネル案について説明し、内容の確認を行った。

その後、各WGの混成グループに分かれて、オープンハウスパネル案に基づき各WGの検討成果の説明を聞き、検討した内容の共有と意見交換を行った。

(3) 全体会

事務局からの提案により、当初予定していた意見交換に係る全体会での共有については次回行うこととして、全体会終了後にWGごとに分かれて、本日の意見交換の内容を踏まえて、オープンハウスパネル案の修正の方向性等についての確認を行うこととした。

3 その他

事務局より、第22回市民検討会を8月28日(日)午前中に開催を予定していることを伝えた。

事務局からの提案のとおり、全体会終了後にWGごとに分かれて、本日の意見交換の内容を踏まえて、オープンハウスパネル案の修正の方向性等についての確認を行い、確認が終了次第、WGごとに解散した。

今回確認した内容を踏まえて事務局にて修正したパネル案を第22回市民検討会にてお示しし、最終確認をすることとした。

各WGでの検討の結果については、次のとおり。

<まちづくりWG>

主な意見は次のとおり。

【全般】

- ・ 説明文が他のWGより細かい。
- ・ 伝えたいキーワードを際立たせる。

【大切な視点・まちづくりのコンセプトについて】

・説明文を削除したり、文字数を小さくすることにより、一番伝えたい大切な視点を目立たせる。

【「～まちなかの検討課題をまとめました～」の項目について】

- ・項目そのものを削除する。
- ・問いかけの部分はあった方が良い。

【アンケートについて】

- ・これまで市民検討会で検討してきたことと意図が反しなければ、行政が聞きたいことを聞いてもよい。
- ・「具体的なアイデア」にシールを貼ってもらい、「最も重視したい『まちづくりの取組』」毎に集計してはどうか。
- ・地図があった方が見やすくどこの問題かわかる。
- ・「最も重視したい『まちづくりの取組』」にシールを貼り、具体的なアイデアはパネルではなく、配布資料で示す。
- ・「次世代に引き継ぐ」ことを意識し、若い世代の反応を知るために年代別にシールを貼ってもらう。

< 公共施設WG >

主な意見は別紙のとおり。

< 公園WG >

主な意見は次のとおり。

- ・屋上にテニスコートを設置すると、防水や防音対策など課題があるのではないか。
- ・自転車用の外周園路を設置することは、まちづくりの交通安全の観点からも良い。
- ・現在の図書館敷地の駐車場に建物等が設置されると、見通しが悪くなるので、どの案も空いたスペースとなっているので良い。そのスペースを芝生広場など、有効活用できると良いのではないか。
- ・エリア案Aの複合施設の位置については、駅から近いに越したことはないが、施設までの景観が良ければ、距離があってもあまり気にしなくても良い。
- ・初めから目的をもって来るのではなく、ふらっと寄る利用者にとっては、駅から近い方が利用しやすいのではないか。
- ・エリア案Bのように分棟になると、施設を複合するメリットが小さくなるのではないか。

- ・それぞれの案毎の特徴を比較しやすいようにして欲しい。
- ・便益施設など、一般の市民には、理解しにくいいため、分かりやすい表現をした方が良い。
- ・木を伐採する必要があることは事前に説明した方が良い。
- ・まちづくりセンターの窓口機能について、複合施設に含まれる前提で案が作られているが、後になって公園の敷地に作ることができないとなると、また検討に時間がかかってしまう。現段階で、そういった可能性もあるのであれば、確認をしておいた方が良い。
- ・現在の鹿沼公園の図があった方が、比較しやすいと思う。

これらの意見を踏まえ、公園WGとしてオープンハウスパネル案を次のとおり修正することを確認した。

- ・エリア案Aの複合施設ゾーンの位置を北方向に修正する。
- ・エリア案Bの複合施設ゾーンの形状を他の案と統一する。
- ・全ての案について、図書館敷地を駐車場に修正する。
- ・全ての案について、便益施設等の言葉を分かりやすい表現に修正する。
- ・全ての案について、案の名称を分かりやすい表現に修正する。
- ・各案の特徴を比較しやすい表現に修正する。
- ・鹿沼公園の現状を追加する。
- ・樹木について、伐採する必要があることが分かるように修正する。

以 上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	出席
茅 弘秋	出席
今 美和子	出席
櫻内 康裕	欠席
白石 一郎	出席
進 晴菜	欠席
鳥海 宗紀	欠席
濱野 麻利子	出席
森光 雄一郎	欠席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
太田 裕	出席
小方 明	出席
小野澤 行雄	出席
上遠野 イク子	出席
金 愛蓮	欠席
佐伯 明美	出席
佐藤 正光	出席
高柳 眞木子	出席
古谷 明李	出席
森田 朱音	出席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
今井 寿	欠席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
城田 大介	出席
田崎 一宏	出席
山口 清孝	出席
山本 里紗	欠席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
伊藤 眞木子	欠席
大谷 康晴	出席
押田 佳子	出席
小島 仁志	欠席
杉崎 和久	欠席
野口 直人	欠席
山口 直也	欠席